



< 概要 >

名称 新富スマートインターチェンジ(仮称)
 路線名 東九州自動車道
 (高鍋IC～西都IC間)
 連結位置 宮崎県児湯郡新富町
 連結施設 県道 高鍋高岡線
 接続形式 本線直結型(全方向 4/4)
 運用形態 全車種24時間

名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者の御意見等も踏まえて決定されます。

スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りできるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

< 位置図 >

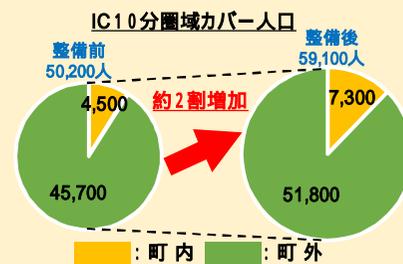


< 期待される整備効果 >

本スマートICの設置により以下の様な整備効果が期待されます。

1. 住民生活の利便性向上

スマートICの整備によって、高速道路へのアクセス性が向上(高速道路へ10分以内に到達する人口：約2割増加)し、通勤や買物など住民生活における利便性向上が期待されます。



2. 地域産業の活性化

スマートICの整備によって、建設中のサッカースタジアムまでのアクセス性が向上し、**地域活性化**が期待されます。また、農産物の集荷場所から高速道路ICへのアクセス時間が短縮され、**農産物の輸送効率化・販路拡大**が期待されます。



周辺ICと各施設の所要時間

サッカースタジアムまで：約6分短縮
 JA集荷所から：約8分短縮

3. 災害時のリダンダンシー確保と防災機能の向上

スマートICの整備によって、**災害時におけるリダンダンシーが確保**されるとともに、大規模災害発生時に救援物資の輸送拠点となる航空自衛隊新田原基地と高速道路を結ぶルートが新たに形成され、**防災機能の向上**が図られます。



写真提供：航空自衛隊新田原基地

4. 地域観光の活性化

スマートIC整備によって、高速道路ICから主要観光地までの所要時間が西都ICからは約8分、高鍋ICからは約9分短縮されるなど、新富町の観光地へのアクセス性が向上し、**観光客増加**が期待され、**地域観光の活性化**が図られます。

新田原古墳群

航空祭

